

日造協ニュース

2018.3月
通巻 第528号

Japan Landscape Contractors Association NEWS

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>
〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012

- 2、3面 【特集】第44回 全国造園デザインコンクール
審査講評 藤井英二郎審査委員長ほか
入選作品 国土交通大臣賞 石田将隆さんほか
- 4面 【ふるさと自慢】岡山県 八藤 由香里（瀬戸内造園株）
こんな「ソフトクリーム」・「お刺身」見たことない！
一度食べたら病みつきになること間違い無し！
- 【緑滴】北海道支部 伊藤 愛（株横山造園）
夜のスキー場

日造協主催 第44回 全国造園デザインコンクール



文部科学大臣賞と国土交通大臣賞をはじめ特別賞受賞者と審査委員で記念撮影

文部科学大臣賞に山梨県立農林高等学校 国土交通大臣賞 石田将隆さん（西日本短期大学）

日造協は、第44回全国造園デザインコンクールの表彰式を2月17日、東京都千代田区二番町の東京グリーンパレスで開催。賞状の授与、受賞者による作品発表を行った。全国造園デザインコンクールは、造園空間のデザインと設計技術の向上を図ることを目的に日造協主催、（一社）ランドスケープコンサルタンツ協会、全国高等学校造園教育研究協議会共催、文部科学省、国土交通省、全国農業高等学校長協会、（公社）日本造園学会、NHKの後援で実施している。

第44回全国造園デザインコンクールは、「住宅庭園部門」に一般・大学32、高校161、「街区公園部門」に一般・大学28、高校58、「商業施設部門」に一般・大学13、高校14、「実習作品部門」

に一般・大学9、高校14の合わせて、329点の応募があり、入選26点、佳作21点、奨学賞21点が選ばれた。

表彰式では冒頭、主催者より藤巻司郎日造協会長があいさつ。受賞者へのお祝いとともに指導された先生方や関係者への感謝、今後のコンクールの発展と社会への貢献に向けた期待を述べた。

次いで、田畑淳一文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室教科調査官、古澤達也国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長が祝辞を述べた。

その後、特別賞の授与、受賞者による作品発表を実施、最後に審査委員長の藤井英二郎千葉大学園芸学部名誉教授が講評を述べ、記念撮影を行い閉会した。



会場の全景①と受賞者による作品発表・質疑のようす②

（2・3面に特集）

樹林

（一社）日本造園建設業協会理事
（株）緑陰建設 代表取締役会長 久保 和男

幕末から明治維新のさが



冬期オリンピックが韓国の平昌で2月25日から17日間の熱戦に幕を下ろしました。日本選手団はこれまでにないメダルを獲得し、全国の皆様も大いに拍手を送られたことでしょう。

そして2020年の東京オリンピック・パラリンピックには今まで以上の期待が向けられ、日本中がどれほど湧き上がるか楽しみです。

私は1964年の東京オリンピックが開催された当時、横浜に住んでおり、オリンピック一色に包まれていたことを思い出します。

大会が終わった後の駒沢競技場周辺を散策した時、大刈込みやケヤキやモミジ、コナラ等の緑のトンネルの遊歩道や石段になんと素晴らしい景であろうと胸を打たれ佐賀に帰り親爺の元で学ぼうと決意し早50数年、このオリンピック会場との出会いがなかったら造園の道はなかったかもしれません。

日造協佐賀県支部は、明治維新150年を契機に2018年3月17日から2019年1月14日まで佐賀県で開催される『肥前さが幕末維新博覧会』に向けて、佐賀県造園建設業協会とともに会場周辺の環境整備をお手伝いする予定です。

薩長土肥の肥前である佐賀は、実は明治維新の鍵を握っていたそんな日本の歴史に大きな足跡を残した佐賀の八賢人と呼ばれている佐賀県出身の偉人達を紹介します。

鍋島直正（1814-1871）幕末の佐賀10代藩主。大規模な行財政改革を断行し、藩校教育を推進。大砲や蒸気船の製造、西洋医学の研究等、当時の日本で最先端といわれる佐賀藩の近代化を先導した。明治の新しい日本において佐賀から多くの人物が出たことに最も貢献した。

枝吉神陽（1822-1862）（ランドスケープコンサルタンツ協会の枝吉茂種会長の曾祖父）新しい日本は天皇を中心とする万民平等の国にしなければならないという思想を広めた。島義勇・副島種臣・大木喬任・江藤新平・大隈重信をはじめと



表彰式は特別賞に限られ、他の受賞者の賞状はこれまで郵送としてきたが、一昨年から可能な限り直接お渡ししようと、昨年は10支部、今年は12支部で15校で実施し、賞状の授与はもちろん、

して多くのすぐれた人物を育てた。

島義勇（1822-1899）藩主鍋島直正とともに当時の日本の外交にとって北海道が重要な意味を持つことに注目し、それまであまり重要視されなかった北海道の調査を行って開発に力を尽くし札幌という新しい都市の建設に着手した。

江藤新平（1824-1874）明治新政府の初代の司法大臣として法律制度を定めたほか新しい日本のさまざまな制度づくりにかわり人権の確立と擁護に尽くした。

大木喬任（1832-1899）明治政府の初代の文部大臣、日本のすべての児童が学校に通い家柄の違いや貧富の差にかかわらず教育が受けられるように近代的な学校教育制度の基礎をつくりあげた。

佐野常民（1822-1902）佐賀藩の海軍の創設に力を尽くし科学技術の推進に大きな功績のあった人。西南戦争のときに敵味方の区別なく負傷者を救護する博愛社をつくり、後の日本赤十字社の基礎をつかった。

副島種臣（1828-1905）明治政府の新しい国家の方向を定めることに尽力し外務大臣として世界を相手に大活躍した。

大隈重信（1838-1922）明治新政府において正貨を鑄造する造幣局をつくり、会計検査院を創設した。薩摩、長州の出身者や公家以外ではただひとりの内閣総理大臣となった人物。また今の早稲田大学を創設した。

佐賀藩が幕府をもしのぐ日本最先端をいく強力な科学技術力・軍事技術力を実現し、幅広い西洋研究や技術開発を通じ、多くの優れた人材を輩出しました。やがてこの佐賀の技術力や人材が明治新政府による新しい日本の国家建設に非常に大きな力を発揮することになったのです。

このように佐賀の偉業、偉人を顕彰し、先人の志を活かすには、我々業界にとって未来につなげていく「肥前さが幕末維新博覧会」を成功させる努力を惜しまないつもりであります。

ぜひ佐賀においていただき、佐賀の文化を楽しんでいただけたら幸いです。

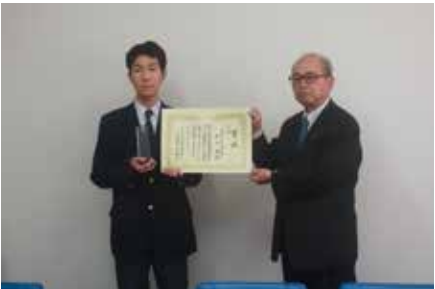


意見交換なども行うなど、インターンシップや就業対策、製図や安全指導など、学校と協会との連携などについても話題となり、有意義な機会となっています。

第44回全国造園デザインコンクール 表彰状持参支部と対象校

持参支部	受賞者在籍高校
群馬県支部	群馬県立大泉高等学校
埼玉県支部	埼玉県立いずみ高等学校
東京都支部	東京都立農業高等学校
神奈川県支部	神奈川県立相原高等学校
山梨県支部	山梨県立農林高等学校
滋賀県支部	滋賀県立湖南農業高等学校 滋賀県立八日市南高等学校

持参支部	受賞者在籍高校
京都府支部	京都府立農芸高等学校
奈良県支部	奈良県立磯城野高等学校
岡山県支部	岡山県立興陽高等学校
鳥取県支部	鳥取県立鳥取湖陵高等学校 鳥取県立米子工業高等学校
島根県支部	島根県立松江農林高等学校
山口県支部	山口県立宇部西高等学校 山口県立田布施農工高等学校



埼玉県支部は、渡邊進支部長が、県立いずみ高等学校の塩谷颯さんに表彰状を授与した



京都府支部は、佐野晋一支部長が府立農芸高等学校の濱田晃輔さん、高矢和希さんに表彰状を授与した

法定福利費の内訳を明示した標準見積書の活用により、法定福利費の確保を図りましょう！

第 44 回全国造園デザインコンクール

審査講評 入選作品

■藤井 英二郎委員長
(千葉大学園芸学部名誉教授)

第 44 回の応募総数は 329 点で、前回より少し減りました。多くの方々の献身的なご努力で半世紀近くも続いている伝統のコンクールですので、さらに多くの応募を期待します。

応募数の割合は、例年、住宅庭園が 6 割、街区公園が 2、3 割、商業施設と実習作品がともに 1 割弱ですので、実習作品数は少ないのですが、優れた作品が多く見られました。設計から施工までみんなで知恵と力を出し合って技や美に集約する楽しさが伝わってきました。教育効果も大きいと思います。最も応募数の多

第 44 回全国造園デザインコンクール受賞者				
賞 部門	氏 名	学校名	学年	
文部科学大臣賞		山梨県立農林高等学校		
国土交通大臣賞	実習	石田 将隆	西 日 本 短 期 大 学	2
造園学会会長賞	住宅	岡 部 隼	E & G アカデミー青山校	1
日造協会会長賞	商業	田 中 愛乃	長野県須坂創成高等学校	3
CLA 会長賞	実習	安 藤 楓	埼玉県立児玉白楊高等学校	3
学校長理事賞	街区	廣 瀬 琳	山梨県立農林高等学校	2
造園協議会長賞	住宅	石橋 陸人	山梨県立農林高等学校	3
入選・審査員特別賞	実習	加藤 純弥	滋賀県立湖南農業高等学校	3
入選	住宅	田部井慎太、齋藤光亮	群馬県立大泉高等学校	2
入選	住宅	村上祐佳里	山口県立宇部西高等学校	3
入選	住宅	砂坂 天音	滋賀県立湖南農業高等学校	3
入選	住宅	小西 優香	滋賀県立湖南農業高等学校	3
入選	住宅	廣田 竜来	滋賀県立八日市南高等学校	3
入選	住宅	廣嶋 美優	奈良県立磯城野高等学校	3
入選	住宅	片山 東子	E & G アカデミー青山校	1
入選	住宅	細 野 駿	E & G アカデミー青山校	1
入選	街区	久保田若葉	山梨県立農林高等学校	2
入選	街区	青柳 恵奈	山梨県立農林高等学校	2
入選	街区	中嶋 幸子	滋賀県立湖南農業高等学校	3
入選	街区	木村 舞美	神奈川県立相原高等学校	2
入選	街区	中川 瞳子	東京都立農業高等学校	3
入選	商業	塩 谷 颯	埼玉県立いづみ高等学校	3
入選	商業	坂 口 遼	長野県須坂創成高等学校	3
入選	商業	北沢 沙稀	長野県須坂創成高等学校	3
入選	実習	高矢 和希	京都府立農芸高等学校	3
入選	実習	濱田 晃輔	京都府立農芸高等学校	3
入選	実習	石田 将隆	西 日 本 短 期 大 学	2
佳作	住宅	河崎 哲平	山口県立宇部西高等学校	3
佳作	住宅	小椋茉侑加	滋賀県立八日市南高等学校	3
佳作	住宅	小池 真世	長野県須坂創成高等学校	2
佳作	住宅	依田 恵佳	長野県須坂創成高等学校	3
佳作	住宅	金城 美里	E & G アカデミー青山校	1
佳作	住宅	加 藤 操	E & G アカデミー青山校	1
佳作	住宅	前田 縫子	E & G アカデミー青山校	1
佳作	住宅	榎本 幹也	中 央 工 学 校	2
佳作	街区	野 澤 樹	滋賀県立八日市南高等学校	3
佳作	街区	小牧 優花	神奈川県立相原高等学校	2
佳作	街区	野末 莞永	静岡県立静岡農業高等学校	3
佳作	街区	藤原 育子	鳥取県立米子工業高等学校	3
佳作	街区	工藤 沙紀	九 州 産 業 大 学	3
佳作	街区	朝永佳那子	南 九 州 大 学	3
佳作	商業	小森 未結	滋賀県立八日市南高等学校	3
佳作	商業	前田 華奈	中 央 工 学 校	2
佳作	実習	村上祐佳里	山口県立宇部西高等学校	3
佳作	実習	堀くら、川原瑞樹	工学院大学大学院	2
佳作	実習	梶原 彩未	西 日 本 短 期 大 学	2
佳作	実習	梅 澤 遥	中 央 工 学 校	2
佳作	実習	吉田 和博	日本工学院八王子専門学校	2

い住宅庭園にもこれまで同様、拘りの提案が見られ、夢が感じられました。街区公園では、高校生の健闘は光るものの、大学生の応募案はここ数年同様いまひとつです。周辺の土地利用を踏まえながら地域の核となる空間の提案を待っています。商業施設はややもすれば画一的な空間になりがちですが、数が増えると同時に個性や違いが求められます。成熟した社会に相応しい商業施設の広場案を期待しています。

■田畑 淳一委員 (文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室教科調査官)

第 44 回全国造園デザインコンクールに入選された皆様、誠におめでとうございます。今年度の文部科学大臣賞は、入賞数と複数の特別賞を受賞された山梨県立農林高等学校が連覇となりました。生徒の個性を大切にしながら各部門できめ細やかに指導されていることが高く評価されました。

応募された作品は、皆様の日頃の努力と学習の成果を見ることができ、素晴らしい作品ばかりでした。これまでの皆様の努力に敬意を表し、ご指導いただいた先生方に改めて感謝を申し上げます。

さて、作品制作には日頃から自らの思考力、判断力、表現力を身に付ける姿勢や感性を高める体験、基礎的・基本的な技術鍛錬など地道な取り組みの積み重ねが必要です。その目標となるよう全国農業高等学校長協会で、「アグリマイスター顕彰制度」を一昨年度創設されました。

全国造園デザインコンクールは、最優秀賞が 30 点、入選が 12 点、佳作が 4 点とポイントが加算されます。生徒の皆様、これからも目標を持ちつつ日頃の学習に取り組んでください。

今後も当コンクールが発展し、農業教育および造園教育の礎になることを祈念し講評とします。

■古澤 達也委員 (国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長)

第 44 回全国造園デザインコンクールの授賞者の皆様、誠におめでとうございます。

国土交通大臣賞は、実習作品部門から



国土交通大臣賞
石田 将隆 西日本短期大学

西日本短期大学の石田将隆さんの作品「玄関前のつなぐ庭」が受賞されました。昨年に引き続き、実習作品部門からの選出です。

この作品は、福岡市植物園内のモデル庭園として設置されたもので、「市民が自分でも作りたくなるようなモデルガーデン」として提案されています。

審査会では、①玄関前の緑化によるまちなみへの参加・貢献という明快なコンセプト、②アイディアからデザインへの落とし込み・設計の詳細検討・市との打ち合わせ・施工に至る一連のプロセスが写真と図面により分かりやすく取りまとめられていること、③出来上がった作品は、福岡市の要請どおり、市民にも手が届く現実的な庭であることが高く評価されました。

指導に当たられた先生方に心より敬意を表しますとともに、素晴らしい作品を作り上げた皆様の今後の活躍をご期待申し上げます。

■篠沢 健太委員
(（公社）日本造園学会理事)

本案は、住戸周囲の生垣と柵を組み合わせ、住宅内部の居住空間の快適さをそっくりそのまま庭にも生み出しています。

2 種類の混ぜ垣にはめ込まれた柵類は単に収納として機能するだけでなく、キッチンガーデンや菜園の「場」を生み出しています。

南側のアウトドアリビングと北側の勝手口を繋ぐデッキも使い心地もよさそうで、住民の活動が想像できます。同時にこれらの柵はまちに開く「窓」にもなっ

ています。

街並みに配慮しつつ足元に配置したり、住戸側から開閉が選択できるスクリーンを併用した細やかな配慮も印象的でした。日本造園学会賞にふさわしいと判断しました。

■渡邊 清美委員 (全国高等学校造園教育研究協議会理事長)

今年もたくさんのご応募をいただきありがとうございました。高校の応募数が 247 点と年々、応募数が減っているのが気になりますが、街区公園や商業施設の作品のレベルが向上し、特に実習作品は甲乙つけがたい力作が多く見られました。

今回、農業校長協会理事長賞の作品は、集合住宅から見た公園として開放感と細部まで工夫された今までにない視点での作品でした。

また、協議会長賞の作品は、小動物を庭園施設として捉えた新しい発想でのデザインでした。ともに高校生らしい豊かで斬新な着想と表現力の作品でした。ぜひ、次回もたくさんのお応募を期待しています。

■伊藤 文喜委員 (全国高等学校造園教育研究協議会副理事長)

今年度の応募作品も時間をかけたレベルの高い作品が多く、出展された皆様の努力とともに各校におけるご指導の賜物と感謝しております。

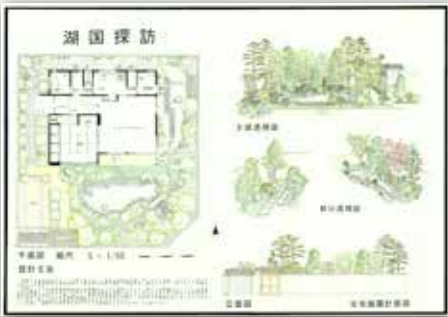
特に高校生の部においては繊細で美しく仕上げられている作品が多く、製図力の高さを感じました。また、住環境と自然の多様な要素をうまく関連させたテー



田部井慎太、齋藤光亮 群馬県立大泉高等学校



村上祐佳 山口県立宇部西高等学校



砂坂 天音 滋賀県立湖南農業高等学校



小西 優香 滋賀県立湖南農業高等学校



廣田 竜来 滋賀県立八日市南高等学校



廣嶋 美優 奈良県立磯城野高等学校



片山 東子 E & G アカデミー青山校



細野 駿 E & G アカデミー青山校



(公社) 日本造園学会会長賞
岡部 隼 E & G アカデミー



(一社) 日本造園建設業協会会長賞
田中 愛乃 長野県須坂創成高等学校



(一社) ランドスケープコンサルタンツ協会会長賞
安藤 楓 埼玉県立児玉白楊高等学校



全国農業高等学校長協会理事長賞
廣瀬 琳 山梨県立農林高等学校



全国高等学校造園教育研究協議会会長賞
石橋 陸人 山梨県立農林高等学校



入選・審査委員長賞
加藤 純弥 滋賀県立湖南農業高等学校

マも多く、デザインに斬新さを感じました。

このように、図面上において造園の様式や技術と、造園空間の利用方法への思考力を表現する成果物として、これからも創造性豊かなたくさんの応募をご期待申し上げます。

■萩野 一彦委員 ((一社) ランドスケープコンサルタンツ協会理事・技術委員会委員長)

(一社) ランドスケープコンサルタンツ協会会長賞は、全作品の中で、着想・デザイン等の最も優れた作品として、埼玉県立児玉白楊高等学校の安藤楓さんの「木村九蔵庭園」が受賞されました。

この作品は、その土地の特性を十分把握して、造園デザインによって土砂流出という課題を解決した、いわばグリーンインフラによる防災対策を行ったものであり、恒久的整備であることから大変リアルティのある作品です。

駐車場との境界にある既存の土留め擁壁は、端部の形状が景観的にも問題があるばかりか、盛りこぼしにより土砂流出を招いていました。この土留め擁壁を回り込むように斜面に階段を設け庭園的にデザインしています。

そして、擁壁には手をつけず、上部の庭を囲む塀のように印象を生まれ変わらせています。回り込む階段から庭全体を円でまとめていることも、うまくいっています。

機能と美の相乗効果を見事に生み出して、プロの設計者顔負けのコンセプトとデザインであり、高校生がここまでできるものかと大変感心しました。

■卯之原 昇委員 ((一社) 日本造園建設業協会業務執行理事・技術委員長)

今年度の日造協会賞は、高校生 247 作品の中から計画、施工、利用について最も優れた作品として、商業施設部門に応募された田中愛乃さん(須坂創成高校)の「緑の図書館」が受賞されました。

プラザ部の読書空間にはブックスパー

ス、多目的空間はデッキと芝生を配し、バリアフリー化されさまざまな人々が利用できる計画でした。また、他部門にもたくさんのアイデア作品がありましたが、奇抜過ぎや施工、利用性でもう少し工夫が必要かと思います。

今回も全 329 点の応募をいただき、応募者そして指導者の皆様に感謝するとともにこれからも多くの作品を応募されることをお願い致します。

■正本 大委員 ((一社) 日本造園建設業協会業務執行理事・事業委員長)

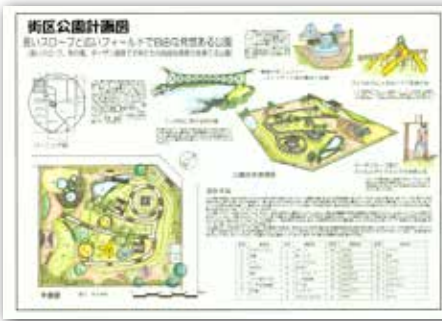
今回も多くの力作が寄せられ、審査委員としては選考に当たり大変苦慮致しました。本事業の担当委員長として、全体的な思いを書かせていただきます。

設計を実施するに当たって、基本とな

る決まり事や法的な配慮も必要です。しかしながら、これからの時代を担う方たちの「こんな空間があったらな…」という自由な発想も大事にしていきたいと思います。制作を通じて、造園の難しさや楽しさを感じ取ってもらえれば幸いです。

出展数は微減となりましたが、新たに参加をいただいた学校も 10 校ありました。大変ありがたく感じております。

本コンクールが学生や造園設計に取り組む皆様にとって、より魅力あるものに成長させていけるよう取り組んで参ります。次年度もさらに多くの思いの込められた作品をお待ちしております。



久保田若葉 山梨県立農林高等学校



青柳 恵奈 山梨県立農林高等学校



中嶋 幸子 滋賀県立湖南農業高等学校



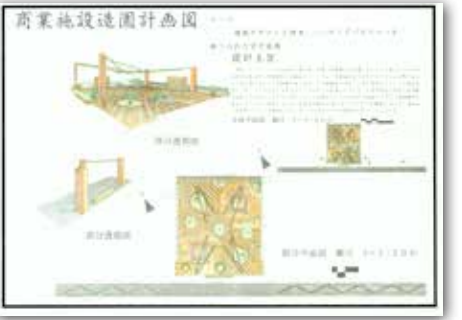
木村 舞美 神奈川県立相原高等学校



中川 瞳子 東京都立農業高等学校



塩谷 颯 埼玉県立いずみ高等学校



坂口 遼 長野県須坂創成高等学校



北沢 沙稀 長野県須坂創成高等学校



高矢 和希 京都府立農芸高等学校



濱田 晃輔 京都府立農芸高等学校



石田 将隆 西日本短期大学

岡山県
ふるさと自慢

こんな「ソフトクリーム」・「お刺身」見たことない！一度食べたなら病みつきになること間違い無し！



私がおススメしたいお店は、備前市香登にある『鷹取醤油』さんです。創業 1905 年のお店で、お醤油だけではなくドレッシングやソース、ポン酢なども販売されています。

こちらお店では“しょうゆソフトクリーム”と“ポン酢ソフトクリーム”を食べることができます。

醤油とポン酢がソフトクリームに合うとは思えない…と思われるかもしれませんが、これがどちらも本当に美味しい!!

ソフトクリームの甘さを邪魔することなく、醤油のコクでまろやかな甘さになり、ポン酢のさわやかさでサッパリとした甘さになり、あまりの美味しさにあつという間に食べ終わってしまいます。

店内の様子

1本300円のソフトクリーム



★おススメ商品★

オリーブと玉ねぎのドレッシング㊤、ふしいち桐㊦

どちらかだけではなく、是非2つとも食べてみてください！

なお、アイスであればカップでの販売もあり、ホームページからも購入可能です。

その鷹取醤油さんの刺身醤油を使用している、お刺身の美味しいお店があります。岡山市北区本町にある『サカナバル レオン』さんです。

新鮮な魚介類を使用したメニューが多く、特におススメなのがお刺身の盛り合わせです。

こちらのメニュー、ただの盛り合わせではありません…一切れ一切れがとっても厚く、一口では食べきれないほどボリュームがあるお刺身に満足すること間違い無し！魚好きにはたまらない一品です！

八藤 由香里
(瀬戸内造園株)



夜のスキー場

ウインタースポーツといえば、何と言っても皆さんご存知の『スキー』でしょう。

この時季、札幌のスキー場は多くのスキー・スノーボード客で賑わっていて、私もスキー愛好家の一人です。

小学1年生からスキーを始め、社会人になった今でもよく滑りに行きます。

私の自宅から車で20分ほどの距離にはスキー場が3ヶ所もあります。私が良く行くスキー場は夜11時まで営業している



にはない魅力がたくさんあるからです。

まず、真っ白なコース内に照明やイルミネーションが映え、しんと雪の降る日には雪にライトが反射して、とても美しく幻想的に見えます。晴れた日は、月灯りでコース内がとても明るくなり、空気が澄んでいるため札幌市内を一望できる夜景は、どこにも負



けないくらい綺麗なのです。

また、昼に比べて気温が低くなるので、パウダースノーになりやすく雪がサラサラしていることが多いですし、ナイター前に一度ゲレンデを整備するので、コースコンディションがよくなり、とても快適に楽しめるのが私のオススメなのです。

ナイター照明の関係で滑ることができるコースが限定されてしまうのが難点ですが、それでも十分楽しめるコースが用意されています。

皆さんもぜひ一度、札幌へお越しただき『夜のスキー場』へ足を運んでみて下さい。きっと夢中になること間違いなしですよ。そして、ぜひ一緒に滑りましょう!!

日造協新入会員のご紹介

社名 / 住所 ☎	代表者 / FAX
(株)根本造園 根本 喜好 東京都東久留米市南町 1-5-4 ☎ 042-461-8142 FAX 042-465-3549	

社名 / 住所 ☎	代表者 / FAX
(有)西日本造園 宮本 信充 広島市東区馬木 6-1904-1 ☎ 082-899-2148 FAX 082-899-3751	

日造協賛助会員の紹介 住友化学(株) アグロ事業部 ハンディタイプの園芸用殺虫剤「ロビンフッド」(エアゾールタイプ)

弊社は、農作物などに大きな被害をもたらす害虫・病気・雑草などを防除する農業や、植物の生育に重要な肥料などの製品を開発・供給しています。

今回は幅広い開発品目の中のひとつであるエアゾールタイプの殺虫剤「ロビンフッド」をご紹介したいと思います。この「ロビンフッド」は使用場面に応じてノズル式・噴射式と処理方法が切り替え可能な2ウェイノズルを採用し、管理作業の合間でも簡単に害虫を防除できる携帯性に優れた製品です。

昨今、さくらで大きな問題になっている特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」をはじめ、樹木・果樹などに潜む害虫をねらい撃ちできます。また各農業試験場等に薬効、薬害、安全性を評価い

ただき農業登録を取得することができました(農林水産省登録 第23780号)。

一昨年の上市以来、皆様から好評の声を多く頂いております、この『ロビンフッド』はお近くの農業資材店で気軽にご購入いただけます。

住友化学はこれからも、安定した高い効果を発揮する農業・肥料製品を提供できるように開発・普及して参ります。

* 農業支援サイト “i-農力” <https://www.i-nouryoku.com/>



日造協賛助会員の紹介 (株)リッチェル 公共用に最適。水管理も取扱いも楽な大型プランターを開発

弊社は、プラスチック製プランター、鉢をメインとする園芸用品のメーカーです。60余年の技術を活かし、軽量・丈夫・美しい質感の100cmサイズのダブルブロー成形の大型プランターも揃えています。扱いやすく、植物にもやさしいことから、近年弊社の「タウンプランター」が街路樹・屋上・壁面等、公共の緑化環境整備への採用機会が増えています。

2017年2月からはさらに『水やりの省力化』を実現する、業界初の底面給水機能付きタイプも発売しました。

大きな特長は3つです。

- ①製品底部に約42ℓ貯水可能で、自然給水により、水やり回数の削減が可能
- ②製品重量わずか約9kgで、移動や設置が楽



③丈夫な素材と二重壁構造で、紫外線劣化や衝撃に強く、耐久性に優れている
詳しくはリッチェルサイト (<http://www.richell.co.jp/>) をご覧ください。

事務局の動き

- [3月]
- 2(金)・国土交通省と建専連との意見交換会
・造園施工に携わる技術者を対象とした人材育成研修会
 - 5(月)・担い手3法と人材育成確保、社会保険未加入対策説明会(福井県支部)
 - 6(火)・広報活動部会
 - 7(水)・造園施工に携わる技術者を対象とした人材育成研修会
 - 13(火)・街路樹剪定士認定委員会(試験部会)
・国土交通省と日造協との意見交換会

- 14(水)・事業委員会(人材育成部会)
- 15(木)・全国建設研修センター評議員会
- 22(水)・財政・運営部会
- 23(金)・街路樹剪定士認定委員会
- 24(土)・平城宮跡歴史公園・開園記念式典
- 30(金)・総支部長等会議
・第2回通常理事会
- [4月]
- 3(水)・会員拡大プロジェクト推進部会
- 7(水)・造園施工に携わる技術者を対象とした人材育成研修会
- 13(金)・担い手育成・確保推進部会)

委員会等の活動

- 財政・運営・財政基盤強化合同部会
平成30年度事業計画案・収支予算案等について審議した。(2/1)
- 技術・技能部会
平成29年度から実施している「造園施工に携わる技術者を対象とした人材育成研修」の実施報告と今後の開催計画について、検討を行った。(2/14)

編集後記 平昌オリンピックも閉会しました。日本はメダルラッシュで選手たちは本当に頑張ってくれました。次は東京オリンピックです！まだまだ日本は盛り上がります。もちろん造園界も！

- 事業委員会
本部・総支部の平成29年度事業報告及び平成30年度事業計画について、検討を行った。(2/16)
- 全国造園デザインコンクール等推進部会
第44回デザインコンクール表彰式および、事業計画について、検討を行った。(2/17)
- 造園領域発展戦略委員会、戦略企画部会
本部・総支部の平成29年度事業報告及び平成30年度事業計画について、検討を行った。(2/22)